

平成23年度計算書類及び附属明細書

- 1 平成23年4月1日から平成23年8月31日までの  
計算書類等  
(一般財団法人としての期間)

【計算書類等】

貸借対照表

正味財産増減計算書

財務諸表に対する注記

附属明細書

財産目録

キャッシュフロー計算書

貸借対照表

平成23年8月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	37,433,567	39,361,242	△ 1,927,675
普通預金	37,433,567	39,361,242	△ 1,927,675
未収利息	256,438,300	4,931,500	251,506,800
流動資産合計	293,871,867	44,292,742	249,579,125
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引当預金	10,000,000	10,000,000	
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	
(2) 特定資産			
投資有価証券	100,000,000,000	100,000,000,000	
特定資産合計	100,000,000,000	100,000,000,000	
固定資産合計	100,010,000,000	100,010,000,000	
資産合計	100,303,871,867	100,054,292,742	249,579,125
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	230,221		230,221
流動負債合計	230,221		230,221
2. 固定負債			
長期借入金	100,000,000,000	100,000,000,000	
固定負債合計	100,000,000,000	100,000,000,000	
負債合計	100,000,230,221	100,000,000,000	230,221
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
宮崎県出捐金	10,000,000	10,000,000	
指定正味財産合計	10,000,000	10,000,000	
(うち基本財産への充当額)	( 10,000,000 )	( 10,000,000 )	( )
(うち特定資産への充当額)	( )	( )	( )
2. 一般正味財産	293,641,646	44,292,742	249,348,904
(うち基本財産への充当額)	( )	( )	( )
(うち特定資産への充当額)	( )	( )	( )
正味財産合計	303,641,646	54,292,742	249,348,904
負債及び正味財産合計	100,303,871,867	100,054,292,742	249,579,125

正味財産増減計算書

平成23年4月1日から平成23年8月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
② 特定資産運用益	251,506,800	4,931,500	246,575,300
特定資産受取利息	251,506,800	4,931,500	246,575,300
③ 受取補助金等		40,000,000	△ 40,000,000
宮崎県出捐金		40,000,000	△ 40,000,000
④ 雑収益	3,344		3,344
受取利息	3,344		3,344
経常収益計	251,510,144	44,931,500	206,578,644
(2) 経常費用			
① 事業費			
② 管理費	2,161,240	638,758	1,522,482
給料手当	924,182		924,182
福利厚生費	449,521		449,521
会議費	34,000		34,000
旅費交通費	33,625	659	35,966
通信運搬費	21,892		21,892
消耗品費	56,484	22,714	16,230
賃借料	88,326		88,326
諸謝金	513,975		513,975
租税公課	24,200	611,800	△ 587,600
支払手数料	15,035	3,585	11,450
経常費用計	2,161,240	638,758	1,522,482
当期経常増減額	249,348,904	44,292,742	205,056,162
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	249,348,904	44,292,742	205,056,162
一般正味財産期首残高	44,292,742		44,292,742
一般正味財産期末残高	293,641,646	44,292,742	249,348,904
II 指定正味財産増減の部			
基本財産収入額		10,000,000	△ 10,000,000
基本財産収入額		10,000,000	△ 10,000,000
当期指定正味財産増減額		10,000,000	△ 10,000,000
指定正味財産期首残高	10,000,000		10,000,000
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	
III 正味財産期末残高	303,641,646	54,292,742	249,348,904

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
投資有価証券の評価基準は原価法によっている。
- (2) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
投資有価証券	100,000,000,000	0	0	100,000,000,000
小計	100,000,000,000	0	0	100,000,000,000
合計	100,010,000,000	0	0	100,010,000,000

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基本財産引当預金	10,000,000	10,000,000		
小計	10,000,000	10,000,000		
特定資産				
投資有価証券	100,000,000,000			100,000,000,000
小計	100,000,000,000			100,000,000,000
合計	100,010,000,000	10,000,000		100,000,000,000

### 4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
地方債証書(宮崎県)	100,000,000,000	-	-

### 5 キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲

要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期的な投資からなっている。

以上

## 附属明細書

### 1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2で記載しているので省略する。

以上

財 産 目 録

平成23年8月31日現在

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的	(単位：円) 金額
(流動資産)	預金 未収利息	普通預金 宮崎銀行県庁支店 (65080) 特定資産 (地方債証書) から生ずる利息	運営費資金として ファンド事業を実施するため	37,433,567 256,438,300
流動資産合計				293,871,867
(固定資産)	基本財産引当預金 投資有価証券	普通預金 宮崎銀行県庁支店 地方債証書 (宮崎県)	基本財産として ファンド事業を実施するため	10,000,000 100,000,000,000
固定資産合計				100,010,000,000
資産合計				100,303,871,867
(流動負債)	未払金	管理費未払額	平成23年8月分給料手当及び賃借料等	230,221
流動負債合計				230,221
(固定負債)	長期借入金	宮崎県	投資有価証券 (地方債証書 (宮崎県)) を購 入するため	100,000,000,000
固定負債合計				100,000,000,000
負債合計				100,000,230,221
正味財産				303,641,646

キャッシュ・フロー計算書

平成23年4月1日から平成23年8月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 事業活動に係るキャッシュ・フロー			
1. 当期一般正味財産増減額	249,348,904	44,292,742	205,056,162
2. キャッシュフローへの調整額			
未収利息の増減額	△ 251,506,800	△ 4,931,500	△ 246,575,300
未払金の増減額	230,221		230,221
小計	△ 251,276,579	△ 14,931,500	△ 236,345,079
3. 指定正味財産増加収入		10,000,000	△ 10,000,000
事業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,927,675	39,361,242	△ 41,288,917
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計			
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出		100,000,000,000	△ 100,000,000,000
特定資産取得支出		100,000,000,000	△ 100,000,000,000
投資活動支出計		100,000,000,000	△ 100,000,000,000
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 100,000,000,000	100,000,000,000
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 財務活動収入			
長期借入金収入		100,000,000,000	△ 100,000,000,000
長期借入金収入		100,000,000,000	△ 100,000,000,000
財務活動収入計		100,000,000,000	△ 100,000,000,000
2. 財務活動支出			
財務活動支出計			
財務活動によるキャッシュ・フロー		100,000,000,000	△ 100,000,000,000
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額			
V 現金及び現金同等物の増減額	△ 1,927,675	39,361,242	△ 41,288,917
VI 現金及び現金同等物の期首残高	39,361,242		39,361,242
VII 現金及び現金同等物の期末残高	37,433,567	39,361,242	△ 1,927,675



2 平成23年9月1日から平成24年3月31日までの  
計算書類等  
(公益財団法人としての期間)

【計算書類等】

貸借対照表

貸借対照表内訳表

正味財産増減計算書

正味財産増減計算書内訳表

財務諸表に対する注記

附属明細書

財産目録

キャッシュフロー計算書

収支計算書

貸借対照表

平成24年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	462,673,180		
普通預金	432,673,180		
定期預金	30,000,000		
未収利息	4,931,500		
未収金	6,656,635		
流動資産合計	474,261,315		
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引当預金	10,000,000		
基本財産合計	10,000,000		
(2) 特定資産			
投資有価証券	100,000,000,000		
特定資産合計	100,000,000,000		
固定資産合計	100,010,000,000		
資産合計	100,484,261,315		
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	103,993,245		
流動負債合計	103,993,245		
2. 固定負債			
長期借入金	100,000,000,000		
固定負債合計	100,000,000,000		
負債合計	100,103,993,245		
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
宮崎県出捐金	10,000,000		
指定正味財産合計	10,000,000		
(うち基本財産への充当額)	( 10,000,000 )	( )	( )
(うち特定資産への充当額)	( )	( )	( )
2. 一般正味財産	370,268,070		
(うち基本財産への充当額)	( )	( )	( )
(うち特定資産への充当額)	( )	( )	( )
正味財産合計	380,268,070		
負債及び正味財産合計	100,484,261,315		

貸借対照表内訳表

平成24年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
<b>I 資産の部</b>				
1. 流動資産				
現金預金	428,948,889	33,724,291		462,673,180
普通預金	428,948,889	3,724,291		432,673,180
定期預金		30,000,000		30,000,000
未収利息	4,931,500			4,931,500
未収金	6,656,635			6,656,635
流動資産合計	440,537,024	33,724,291		474,261,315
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産引当預金		10,000,000		10,000,000
基本財産合計		10,000,000		10,000,000
(2) 特定資産				
投資有価証券	100,000,000,000			100,000,000,000
特定資産合計	100,000,000,000			100,000,000,000
固定資産合計	100,000,000,000	10,000,000		100,010,000,000
資産合計	100,440,537,024	43,724,291		100,484,261,315
<b>II 負債の部</b>				
1. 流動負債				
未払金	103,695,420	297,825		103,993,245
流動負債合計	103,695,420	297,825		103,993,245
2. 固定負債				
長期借入金	100,000,000,000			100,000,000,000
固定負債合計	100,000,000,000			100,000,000,000
負債合計	100,103,695,420	297,825		100,103,993,245
<b>III 正味財産の部</b>				
1. 指定正味財産				
宮崎県出捐金		10,000,000		10,000,000
指定正味財産合計		10,000,000		10,000,000
(うち基本財産への充当額)	( )	( 10,000,000 )	( )	( 10,000,000 )
(うち特定資産への充当額)	( )	( )	( )	( )
2. 一般正味財産	336,841,604	33,426,466		370,268,070
(うち基本財産への充当額)	( )	( )	( )	( )
(うち特定資産への充当額)	( )	( )	( )	( )
正味財産合計	336,841,604	43,426,466		380,268,070
負債及び正味財産合計	100,440,537,024	43,724,291		100,484,261,315

正味財産増減計算書

平成23年9月1日から平成24年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	1,628		
基本財産受取利息	1,628		
② 特定資産運用益	348,493,200		
特定資産受取利息	348,493,200		
③ 雑収益	23,128		
受取利息	23,128		
経常収益計	348,517,956		
(2) 経常費用			
① 事業費	268,110,580		
会議費	194,610		
旅費交通費	7,390		
報償費	20,000		
賃借料	116,140		
諸謝金	100,000		
支払助成金	266,382,785		
委託費	1,261,200		
支払手数料	28,455		
② 管理費	3,780,952		
給料手当	2,129,197		
福利厚生費	641,017		
会議費	7,800		
旅費交通費	7,273		
通信運搬費	43,868		
消耗品費	37,774		
賃借料	167,433		
諸謝金	725,925		
租税公課	2,500		
支払手数料	18,165		
経常費用計	271,891,532		
当期経常増減額	76,626,424		
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	76,626,424		
一般正味財産期首残高	293,641,646		
一般正味財産期末残高	370,268,070		
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	10,000,000		
指定正味財産期末残高	10,000,000		
III 正味財産期末残高	380,268,070		

正味財産増減計算書内訳表

平成23年9月1日から平成24年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益		1,628		1,628
基本財産受取利息		1,628		1,628
② 特定資産運用益	348,493,200			348,493,200
特定資産受取利息	348,493,200			348,493,200
③ 雑収益	20,684	2,444		23,128
受取利息	20,684	2,444		23,128
経常収益計	348,513,884	4,072		348,517,956
(2) 経常費用				
① 事業費	268,110,580			268,110,580
会議費	194,610			194,610
旅費交通費	7,390			7,390
報償費	20,000			20,000
賃借料	116,140			116,140
諸謝金	100,000			100,000
支払助成金	266,382,785			266,382,785
委託費	1,261,200			1,261,200
支払手数料	28,455			28,455
② 管理費		3,780,952		3,780,952
給料手当		2,129,197		2,129,197
福利厚生費		641,017		641,017
会議費		7,800		7,800
旅費交通費		7,273		7,273
通信運搬費		43,868		43,868
消耗品費		37,774		37,774
賃借料		167,433		167,433
諸謝金		725,925		725,925
租税公課		2,500		2,500
支払手数料		18,165		18,165
経常費用計	268,110,580	3,780,952		271,891,532
当期経常増減額	80,403,304	△ 3,776,880		76,626,424
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
経常外費用計				
当期経常外増減額				
当期一般正味財産増減額	80,403,304	△ 3,776,880		76,626,424
一般正味財産期首残高	256,438,300	37,203,346		293,641,646
一般正味財産期末残高	336,841,604	33,426,466		370,268,070
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高		10,000,000		10,000,000
指定正味財産期末残高		10,000,000		10,000,000
III 正味財産期末残高	336,841,604	43,426,466		380,268,070

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
 投資有価証券の評価基準は原価法によっている。  
 (2) 消費税等の会計処理  
 消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
投資有価証券	100,000,000,000	0	0	100,000,000,000
小計	100,000,000,000	0	0	100,000,000,000
合計	100,010,000,000	0	0	100,010,000,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基本財産引当預金	10,000,000	10,000,000		
小計	10,000,000	10,000,000		
特定資産				
投資有価証券	100,000,000,000			100,000,000,000
小計	100,000,000,000			100,000,000,000
合計	100,010,000,000	10,000,000		100,000,000,000

4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
地方債証書(宮崎県)	100,000,000,000	—	—

5 キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲

要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期的な投資からなっている。  
 なお、現金及び現金同等物の残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

(単位：円)

前期末		当期末	
現金預金勘定	—	現金預金勘定	462,673,180
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	—	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	-30,000,000
現金及び現金同等物	—	現金及び現金同等物	432,673,180

以上

## 附属明細書

### 1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2で記載しているので省略する。

以上

## 財 産 目 録

平成24年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的	金額
(流動資産)			
預金	普通預金 宮崎銀行県庁支店(65080) 普通預金 宮崎銀行県庁支店(73073) 普通預金 宮崎県信連本所(18998) 定期預金 宮崎銀行県庁支店 特定資産(地方債証券)から生ずる利息 平成23年度ファンド事業助成金返還額	運営費資金として ファンド事業費資金として ファンド事業費資金として 運営費資金として ファンド事業を実施するため 助成事業3件分	3,724,291 28,941,734 400,007,155 30,000,000 4,931,500 6,656,635
流動資産合計			474,261,315
(固定資産)			
基本財産	定期預金 宮崎銀行県庁支店	基本財産として	10,000,000
特定資産	地方債証券(宮崎県)	ファンド事業を実施するため	100,000,000,000
固定資産合計			100,010,000,000
資産合計			100,484,261,315
(流動負債)			
未払金	平成23年度管理費未払額 平成23年度ファンド事業助成金未払額	平成23年3月分給料手当及び賃借料等 助成事業8件分	297,825 103,695,420
流動負債合計			103,993,245
(固定負債)			
長期借入金	宮崎県	投資有価証券(地方債証券(宮崎県))を購入するため	100,000,000,000
固定負債合計			100,000,000,000
負債合計			100,103,993,245
正味財産			380,268,070



キャッシュ・フロー計算書

平成23年9月1日から平成24年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 事業活動に係るキャッシュ・フロー			
1. 当期一般正味財産増減額	76,626,424		
2. キャッシュフローへの調整額			
定期預金・積金の増減額	△ 30,000,000		
未収利息の増減額	251,506,800		
未収金の増減額	△ 6,656,635		
未払金の増減額	103,763,024		
小計	318,613,189		
3. 指定正味財産増加収入			
事業活動によるキャッシュ・フロー	395,239,613		
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計			
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出			
特定資産取得支出			
投資活動支出計			
投資活動によるキャッシュ・フロー			
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 財務活動収入			
長期借入金収入			
長期借入金収入			
財務活動収入計			
2. 財務活動支出			
財務活動支出計			
財務活動によるキャッシュ・フロー			
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額			
V 現金及び現金同等物の増減額	395,239,613		
VI 現金及び現金同等物の期首残高	37,433,567		
VII 現金及び現金同等物の期末残高	432,673,180		

## 収支計算書（損益計算方式）

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	3,000	1,628	1,372
基本財産受取利息	3,000	1,628	1,372
② 特定資産運用益	600,000,000	600,000,000	
特定資産受取利息	600,000,000	600,000,000	
④ 雑収益	8,000	26,472	△ 18,472
受取利息	8,000	26,472	△ 18,472
経常収益計	600,011,000	600,028,100	△ 17,100
(2) 経常費用			
① 事業費	600,000,000	268,110,580	331,889,420
会議費支出		194,610	△ 194,610
旅費交通費支出		7,390	△ 7,390
報償費支出		20,000	△ 20,000
賃借料支出		116,140	△ 116,140
諸謝金支出		100,000	△ 100,000
支払助成金支出	598,500,000	266,382,785	332,117,215
委託費支出	1,500,000	1,261,200	238,800
支払手数料支出		28,455	△ 28,455
② 管理費	7,744,876	5,942,192	1,802,684
給料手当支出	2,923,154	3,053,379	△ 130,225
福利厚生費支出	437,362	1,090,538	△ 653,176
会議費支出	175,500	41,800	133,700
旅費交通費支出	213,700	40,898	172,802
通信運搬費支出	329,250	65,760	263,490
消耗品費支出	323,400	94,258	229,142
印刷製本費支出	315,000		315,000
光熱水料支出	180,000		180,000
賃借料支出	322,000	255,759	66,241
諸謝金支出	1,361,050	1,239,900	121,150
租税公課支出	261,000	26,700	234,300
委託費支出	730,000		730,000
支払手数料支出	173,460	33,200	140,260
経常費用計	607,744,876	274,052,772	333,692,104
当期経常増減額	△ 7,733,876	325,975,328	△ 333,709,204
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	△ 7,733,876	325,975,328	△ 333,709,204
一般正味財産期首残高	44,292,742	44,292,742	
一般正味財産期末残高	36,558,866	370,268,070	△ 333,709,204
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	
III 正味財産期末残高	46,558,866	380,268,070	△ 333,709,204

# 會計監查人監查報告

## 独立監査人の監査報告書

平成 24 年 5 月 10 日

公益財団法人宮崎県口蹄疫復興財団

理事長 牧元 幸司 殿

清家公認会計士事務所

公認会計士 清家秀夫 

私は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 124 条第 2 項第 1 号の規定に基づき、一般財団法人宮崎県口蹄疫復興財団の平成 23 年 4 月 1 日から平成 23 年 8 月 31 日までの平成 23 年度事業に係る貸借対照表及び損益計算書（公益法人会計基準に基づく「正味財産増減計算書」をいう。）並びにその附属明細書（以下「財務諸表等」をいう。）について監査を行った。この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討する事を含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と求められる公益法人会計の基準に準拠して、一般財団法人宮崎県口蹄疫復興財団の当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

公益財団法人宮崎県口蹄疫復興財団と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

## 独立監査人の監査報告書

平成 24 年 5 月 10 日

公益財団法人宮崎県口蹄疫復興財団

理事長 牧元 幸司 殿

清家公認会計士事務所

公認会計士 清 家 秀 夫



私は、一般財団法人宮崎県口蹄疫復興財団の平成 23 年 4 月 1 日から平成 23 年 8 月 31 日までの平成 23 年度事業に係る財産目録（「貸借対照表科目」、「使用目的等」及び「金額」の欄に限る。）及びキャッシュ・フロー計算書について監査を行った。この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討する事を含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している、

私は、上記の財産目録（「貸借対照表科目」、「使用目的等」及び「金額」の欄に限る。）及びキャッシュ・フロー計算書が、我が国において一般に公正妥当と求められる公益法人会計の基準に準拠して、一般財団法人宮崎県口蹄疫復興財団の当該財務諸表等に係る期間の財産及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

公益財団法人宮崎県口蹄疫復興財団と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 独立監査人の監査報告書

平成24年5月10日

公益財団法人宮崎県口蹄疫復興財団

理事長 牧元 幸司 殿

清家公認会計士事務所

公認会計士 清家 秀夫 

### <財務諸表監査>

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人宮崎県口蹄疫復興財団の平成23年9月1日から平成24年3月31日までの平成23年度事業の貸借対照表及び損益計算書（公益認定等ガイドラインI-5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）並びにその附属明細書並びにキャッシュ・フロー計算書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、貸借対照表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

### 財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

私の責任は、私が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な

表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### <財産目録に対する意見>

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人宮崎県口蹄疫復興財団の平成23年9月1日現在の平成23年度事業の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

#### 財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

#### 監査人の責任

私の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

#### 財産目録に対する監査意見

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

#### 利害関係

公益財団法人宮崎県口蹄疫復興財団と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上


# 監事監查報告



# 監査報告書

平成24年5月17日

公益財団法人宮崎県口蹄疫復興財団  
理事長 牧元 幸司 殿

監事 神戸洋一郎 

監事 稲用博美 

私たち監事は、当財団の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの平成23年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する第99条第1項並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第33条第2項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を見直し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計監査人から、当該年度の監査を行うに当たり特に考慮した監査上の危険、監査計画及び実施した監査手続き等の報告を受け、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正に監査を行っていることを確認しました。

以上の方法によって、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等を監査しました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示していると認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 事業報告に記載されている理事の職務の執行は、相当であると認めます。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

会計監査人清家秀夫氏の監査の方法及び結果は、相当であると認めます。

以上